がん進展制御研究所セミナー

制御性T細胞を標的とした
がん免疫療法の可能性

講演者：国立がん研究センター研究所
腫瘍免疫研究分野
前田 優香 先生

日時：2024年5月17日(金) **17:00～18:00**

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

前田先生は制御性T細胞（Treg）の制御機構を中心に、がん免疫の基礎研究から臨床応用まで幅広く研究を展開されています。この度、Tregを標的としたがん免疫療法の可能性について、セミナーして頂くことになりました。

Treg細胞は、免疫恒常性の維持に重要だが、がん免疫では抗腫瘍免疫応答を抑制して発がんに関わっていることが知られています。がん組織に多数存在する活性化Treg細胞はケモカイン受容体CCR4が高発現しているため、抗CCR4抗体であるMogamulizumabの投与により活性化Treg細胞の除去と臨床効果が期待されたが、多くの患者で治療効果は認められませんでした。前田先生はCCR4の発現レベルに着目し、Mogamulizumabの投与量を調節することで、Tregの選択的除去が可能であることを示しました。

皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野）内線6760